

海外生活 エッセー

シドニー事務所

みんなコーヒー大好き！

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 大河内 美和 (和歌山県和歌山市派遣)

英国式の紅茶文化をしのぎ、今やコーヒー文化が定着したオーストラリア。街を歩けば至る所にカフェやテイクアウト（持ち帰り）専用のコーヒーショップが点在し、朝から多くの人たちが立ち寄りコーヒーを楽しむ姿を見かけます。今回は、この国のコーヒー文化についてご紹介したいと思います。

→ コーヒー文化の広まり

オーストラリアでコーヒー文化が広まったのは、1950年代頃のことです。第二次世界大戦後、ヨーロッパ系移民が持ち込んだコーヒー文化の影響を受け、これまで紅茶が主流であったオーストラリアでも、次第にエスプレッソコーヒーを飲む習慣が普及していきました。

今では、コーヒー豆の産地等にこだわりを持つ個人経営のカフェや、コーヒーショップの中からお気に入りのお店を見つけ、自分好みのコーヒーを楽しむことがオーギー（オーストラリア人）の生活の一部となっています。

→ ユニークなコーヒーメニュー

この国では、まだ日本でなかなかお目にかかれないコーヒーに出会うことができます。例えば、お湯を注いだカップにエスプレッソを加えた「ロング・ブラック」、エスプレッソにスチームド・ミルクを加えた「フラット・ホワイト」などエスプレッソをベースにした香り豊

かなコーヒーです。ちなみに現在、コーヒーの価格は一杯日本円で300円から400円で提供されていて、物価が高いと言われるオーストラリアでもコーヒーはお手頃価格で楽しむことができます。



→ ザ・ロックス・アロマ・フェスティバル

毎年冬の7月には、シドニー港湾局主催のコーヒーの祭典「ザ・ロックス・アロマ・フェスティバル」が開催されます。毎年10万人以上が来場するこのイベントを見に行ってきました。人気カフェのバリスタやロースター（豆を煎る人）たちが集い、豆の挽き方、煎れ方、コーヒーの抽出の仕方にこだわった各ブースには、長蛇の列ができていました。

また、会場内ではコーヒーと一緒に楽しめるチョコレートやカップケーキなどのお菓子の販売、ラテアートの体験やコンテストも開催されていました。私もコーヒー片手に気になるブースを見て回り、オーギー達のコーヒー好きを肌で感じることができました。



コーヒー好きで賑わうアロマ・フェスティバル

オーストラリア政府観光局のホームページでは、このようなイベントをはじめ、有名なカフェ、コーヒー関連のツアーなどが紹介されており、今ではコーヒー文化がオーストラリア観光の一つの特色ともなっています。

【参考】

TOURISM AUSTRALIA

<http://www.tourism.australia.com> (2015年8月現在)